

☆ 子ども会(学習会)だより ☆

MY SKY 第28号

マイスカイ

1997年2月4日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・販賣:吉誠社

二週間ぶりのごぶさたでした。実は、私もとうとうインフルエンザにかかってしまい、一時仕事が停滞してしまいました。ということで、MY SKYも一度お休みさせていただいた次第です。瞬間的には39.6度まで熱が出ました。生徒のみなさんの中には40度を越して熱を出した人もいるのではないでしょうか。本当に大変な今年の風邪、こじらせないように気をつけてくださいね。

ここで知り合いのお医者さんからもらった注意点をいくつか!! 外から家に入ったときうがいをしますが、必ず自分のコップでうがいをすること。不用意に他人のコップでやると、風邪がうつってしまうかもしれませんので、かえって良くないのだそうです。そして、集団でうがいをすることも×。大勢が一斉にうがいをしている所は、ビールスの溜まり場になるのだそうです。「うがい自体はよいことなので、正しくやることを心がけてください」とのことです。何事もそうかもしれません、いくら良いことでも、それを正しく扱わなければ、かえって逆効果になるというわけですね。何事に対しても、みんなで正しい知識を身につけましょうね。



○先進地視察～大阪研修報告!! (1月16・17日:大阪日の出支部)

前回予告していたとおり、板野町解放教育推進委員会が中心となって行ってきた大阪研修について、報告しておきたいと思います。

学校同和教育研究会 1. 同和教育主事・主任・担当者・学専の会

[保育・幼稚園・小学校・中学校]

2. 生徒指導教頭・主事・主任会

[高等学校・養護学校]

3. 解放教育推進委員会…①同和教育年間計画の検討

②全体学習の推進 ③意識調査の実施など

まず板野町解放教育推進委員会なる会について説明しておかなければいけませんね。板野町には、学校同和教育研究会(学同研)という会があって、町内にある保育所、幼稚園、

小学校、中学校、高等学校、養護学校に勤めるすべての教職員で組織しています。学同研にはさらに3つの会がおかれ、その中の一つが解放教育推進委員会なのです。している内容は、同和教育年間計画の検討、全体学習の推進、意識調査の実施などです。火曜日のお昼から総合センターでよくやっています。これから板野町における同和教育をより良くしていくためにはどうすればいいかについて話し合っているのですが、その一環として、今回先進地である大阪日の出支部に研修に出かけたのです。これからの部落解放という目標をしっかりと持つためにも、またこれから板野町や町内の学校が何をしていかなければいけないのかを見つけるためにも、大変有意義な研修となりました。

当日は、常に議論している町内の先生方だけでなく、他にも多くの参加者があり、総勢36名で出発しました。板中からは阿部先生、柿原先生、それと私の3人で参加しました。

まず現地について感じたことは、運動の歴史が非常に深いということでした。そしてまた、研究と実践が徹底的にされているということでした。その結果として出てきていることはたくさんあるのですが、一言で言えば、「差別をなくす基本は教育である」ということに尽きると思います。

そもそも40年前、大阪日の出地区で解放運動を始めたのは、当時まだ高校生だった7人なのだそうです。今でも「七人の侍」のように、それぞれの写真が額に入れられて、解放会館に飾られていきました。その方たちは今も、いろんな分野で活躍されているようです。その中の一人の40年前当時の家が、解放会館の中に残され展示されていたのですが、その頃の部落の劣悪な状態の一端が感じられるようでした。というのも、4畳半一間に、6人が生活していたというのですから……。しかもそれが、まだ条件の良い家だったというのです。その頃のことを忘ることのないように、きちんと現存させているというところもすごいのですが、それにしても今の近代的な地域環境を考えると、本当に考えられない前進です。解放運動の成果ですね。

また別の部屋には、地区の子どもたちがいろんなことに取り組めるようなモノがたくさん用意されていました。ラジコンカーのコースやらビリヤード台、ベーゴマ、またハムスターやらカメ、タガメまでいて、本当にいろんなホンモノに接しながら経験を積んでいるなど感じました。たくさんの経験を積む中で、子どものいろんな個性を見つけ、引き出し、生かすことで、自信が生まれ、そのことを通して、教育を考えていこうとしているのが少しわかりました。でもこれらのこと、一人ひとりの子どもを見つめなければ、認めるともできませんし、^{おさな}幼い時に切り捨てられるほど、子どものやる気はなくなってしまうよ

うです。そのために日の出地区では、保育時に、3人の子どもに一人の保育者がつくようになっているのだそうです。今の板野町では、10人の子どもを一人で見ていることを考えると、きめの細かな保育ができることがわかると思います。それは中学校にも反映していて、学級担任は、どのクラスも2人で行っているのだそうです。つまり、板中であれば一人で30人以上をみているのに対して、日の出地区の中学校では、一人で15人程度を見ていることになります。一人ひとりを大切に見れるわけです。

では、どうしてこんなことができたのか？それは初めに書いたように、「差別をなくす基本は教育である」という理念から、いろんな改革を地域住民と一緒にになって考える中で、条件整備を市や大阪府、国に訴えていった成果なのだそうです。

しかも訴えてきたことは、実は日本全体をリードしていくことにつながり、文部省自身が、こういった取り組みを参考にしているというのです。最新の教育のモデルとなってきたわけですね。つまり、日の出地区は時代を先取りしていたということなのです。

これらのこととを常に思案してきた「七人の侍」の一人である、有名な山中多美男さんから、直接お話を聞くことができました。その中で知ったことを、いくつか挙げてみます。

これまでの教育………

その結果？



子どもたちの姿………



では文部省は？



文部省の新しい学力観………



では真の学力観とは？



真の学力観………

ではこれからは？



これからのキーワード…

- ①詰め込み
- ②受験体制、輪切り指導
- ③競争主義、序列主義、管理主義

- ①没個性

- ②大量の落ちこぼれ

- ③不満、ストレスのうつ積(差別、いじめ、校内暴力、暴走)

- ④無気力、無感動、無関心、無秩序、無自覚…五無主義

- ①自己教育力の育成

- ・意欲(自ら学ぶ意欲)

- ・主体(社会の変化に主体的に対応する力)

- ②基礎、基本の育成

- ③個性の育成

- ①新しい学力観の育成

- ②集団(共生)の育成

- ③人権意識の確立

- ①個性重視(個別化しバラバラになるということではない)

②集団重視(共存)

③人権重視

これだけでは、何が何やらわからないと思います。詳しく言えばきりがないし、まだまだ私の中でも、わかりやすく言えるほど頭の中が整理できることも確かです。(膝をつき合させて話していけばある程度正確に伝えられるかもしれません)でも、今まで私自身考えてきたことが、そう間違っていないことも確かだと思います。ただ、頭ではわかっていても、なかなか徳島・板野では実現できていないのが現実です。もしかしたら、実現化しようとしてないだけかもしれません。本当は、やろうと思えばできることははあるのに、初めから「できない」と自分自身に思い込ませて、やろうとしてないだけかもしれません。みんなで議論して、一つずつでも実現してみませんか。特に私にとって驚いたのは、「新しい学力観の育成」です。今の学校現場では、やはり5教科重視の学力観が強く根付いています。それはテストにもあらわれているし、通信簿も、入試もそうです。昔に比べると随分変わったのかもしれません、まだまだ5教科重視になっています。この意識が、4教科や道徳、学活をはじめとする特別活動や、まだまだ取り組まれていない大切な教育に目を向けられると、随分学力観も変わり、それによって、イキイキできる子どもも増えてくると思います。つまり、楽しい学校というわけですね。

いろいろ変えなければいけないことはたくさんありますが、今の子どものためにも、また将来の子どものためにも、「変える勇気」を出していきませんか。

思いつくまま報告しました。生徒のみなさんにはわかりづらかったと思います。お家の方にちょうど良いくらいでしょうか。また折を見て、わかりやすく出せるよう工夫してみたいと思います。教育について、しっかり話をしましょう！！



◇ これから日の日程 ◇ ◇ ◇

さてみなさんは、最近の日本や世界における大きなニュースといえば、何を想像しますか？ペルー日本大使館人質事件？ロシア石油タンカー重油流出事故？オレンジ共済組合資金乱用事件？

今、世間を騒がせている事件はたくさんありますが、できることなら、というか、大なり小なりやはり興味・関心をもって見聞きし、これらのことについて考えておいてほしいと思うのです。難しそうでよくわからないことは、お家の人に聞くも良いし、学校の先生に聞くも良いと思います。それでもわからないときは、友達や先生と一緒にになって調べて

みても面白いと思うんです。最近のニュースには、わかりやすく解説してくれる番組も増えてきました。特に日曜日の朝にやっているニュース番組なんかは、小・中学生向きに制作されていて、よくわかるようにできてますね。

「何を今さら！そんな難しいことはわからんでいいの！わかる人にやらしとつたらいいの！」

どうせ自分なんかが考えたところで、何がどう変わるわけがないんやから！」

な～んて思っている人もたくさんいるのではないかでしょうか。確かにそうかもしれません。でも、この意識が大人も子どもも変わっていかない限り、今の社会を変えることすらできないのです。こういう無関心・無責任な考えが、実はいじめを残したり、差別を許したりする社会につながっているのです。先に挙げた事件と、人権を大切にすることがつながっているのが、みなさんにはどの程度わかるでしょうか？深く深く掘り下げて考え、友達と話し合ってみてください。きっとこれらの事件を含め、ありとあらゆる事件・事故が、人権問題を抜きにして考えられないことがわかってくると思います。

私たちにできることは、実はたくさんあります。自分を高めることもそうですし、家庭や学級、学校の意識を高め、変えていくこともそうです。また、地域や板野町そのものを変えていくこともそうです。そうした、初めは小さな小さな波がだんだんと集まり、大きな波となって、社会全体を動かすことにつながっていくのだと思うんです。その一番最初の基本となる、大事な大事なあなた自身をまず見つめ、少しずつ周りと一緒にになって変える努力をしていきましょう。

また、現在日本社会の最先端でも、人権感覚にすぐれた人材が求められています。そうでないと、他の国々に認めてもらえないからです。変わりばえのしない人材ではなく、独創的な発想のできる、人権感覚をしっかりとった人材が今、必要とされているのです。私たちみんなが、そのことにしっかり気づき、人権を尊重する社会に、本当に誰もが心豊かに生きられる社会に近づけていかねばなりません。これから社会をリードしていく若いみなさん、^{あま}甘えは許されませんよ～。しっかりがんばりましょう！

ところで、日本海に重油回収ボランティアに行ってみようと思う人！いましたら、私まで直接連絡してください。大人でも子どもでも結構ですので、興味ある人はぜひ！



2月5日(水) 3年生学習会解放子ども会(18:00～19:30：総合センター)

6日(木) 1年代5回全体学習1年C組：資料「いじめられっ子が死を選ぶまで」

7日(金) 6年生体験入学(13:20～：板野中学校)

10日(月) 『MY SKY 第29号』発行日